



『山で休けいふくろう』
いんむい

千曲小学校

5年

木藤

誉秀阿



5年生キャンプの2日目にクラフト体験で森の木や枝を材料に使って、ふくろうを作りました。

最初に、須坂青年の家の所長さんから、ふくろうのお話

を聞きました。そのお話は、布引観音に「観音様、ほくの目が見えるようにしてください。」と、毎日お参りに来ていた目の見えない男の子に、ふくろうが夕方まで目を貸してあげるお話です。ほくはお話を聞きながら、どんな様子のふくろうを作りたいのかを考えました。そして、山で休けいしているふくろうを作ろうと思いました。そして所長さんが用意してくれたふくろうの絵や写真を見てみると、木に住んでいるふくろうを見つけてみました。ふくろうが木に住んでいたので、まねをしました。

山で休けいしているふくろうになるよう、それに合う材料の木を選びました。顔にする木を決めて、それに合う体や台の木を決めました。それで、目、つめ、体、台の木を木工用ボンドでつけて、やってみました。自分で考えて工夫したのは、ふくろうをのせる台の木に枝をたくさん付けたことと、つめを増やしたことです。やってみるときれいで木に住んでいる感じになる工夫が見つけれられたので、うれしかったです。ふくろうをのせる木には白樺の木を使って



みました。そして、もつとふくろうみたいになるようにペンで羽を描きました。そうしたら、もつといいふくろうができました。だから、さらに工夫してみようと思つて後ろにも木の枝をつけて、羽も後ろにもつけてみると、成功しました。そして、山の中にいる感じになるように木の枝は5つ使いました。つめには3つ使いました。ふくろうを台に置く場所は、上の方にしました。下の方につけると落ちてしまいました。だから、上につけることにしました。最後の仕上げでは、ほくの名前や「2016年」や「9月1日キャンプ」などの文字を書いたりしました。そして、わざとつめの置き方を変えてみると、この工夫も成功しました。

思いついた工夫をいろいろやってみたら、自分でも「成功した」と思うふくろうができたのでよかったです。

市立小諸高演虚子記念館

— 講演会のご案内 —

小諸藩主 牧野華紅(康満)

『熱海遊山吟』講演会

講師 伊藤 高甫 氏

(天為) 同人/俳人協会会員

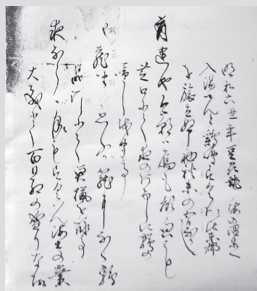
日時 平成28年11月3日(木)

午後1時30分〜3時

※入場無料

場所 市立小諸高演虚子記念館

伊藤氏は華紅が熱海へと向かった道中を实地で辿り「俳壇」に一年間、その詳細を連載されました。華紅の5代前、牧野忠成は第二次上田合戦、徳川秀忠軍の武将でした。



『熱海旅行吟』(写本)
4行目「首途や今朝八鳥も朝兒も」

▼問い合わせ先

市立小諸高演虚子記念館
☎ 26-3010

ご報告

小諸市文化センターより
小諸市文化センターでは、春、秋の2回、公民館登録団体によるボランティア清掃を行いました。

6月18日(土)には71名、9月27日(火)には45名によって、敷地内駐車場、園内道路、乙女湖外縁、テニスコート周辺の草むしり、ゴミ拾い、側溝掃除などが行われました。

80を超える小諸市公民館登録団体から沢山の皆さんの参加があり、特に小海線乙女駅への山道やロータリー周辺の花壇が見違えるほど綺麗になりました。気持ち良くご来園いただけます。

今回の清掃で、文化センターでのよりよい公民館活動・生涯学習が継続されることとします。ご協力ありがとうございました。

